



3-3-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo, 100-0013 Japan
TEL: +81-3-3593-0139
FAX: +81-3-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

News Release

一般社団法人 日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

平成 30 年 5 月 24 日

平成 30 年度第 1 回「海外物流戦略ワーキングチーム」を開催

(一社)日本物流団体連合会(会長:田村修二)は、5月22日(火)、物流事業の海外進出に関する課題について、官民連携して検討する今年度第一回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム」を、千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。会議には、国土交通省の町田国際物流課長を始めとする幹部や、会員企業から29人が参加した。

冒頭、与田物流連理事長より開会の挨拶の後、議事に入った。まず、最初の議事として、本ワーキングチームの一員である日本貨物鉄道株式会社の西村海外事業室長より、インドにおける鉄道貨物輸送の現状とモーダルシフトについて、デリーとムンバイ等を結ぶ貨物専用線の建設が進んでいる一方で、一般的にダイヤ、運行ルートが事前に設定されておらず、また、運行と拠点荷役の連携が取れていない等の課題があるとの説明がなされた。

続いて、国土交通省総合政策局 町田国際物流課長より、最近の国土交通省の国際物流政策の取組として第13回日本並びにASEAN物流専門家会合の報告がされるとともに、今年度のASEAN諸国との政府間物流政策対話や日中韓物流大臣会合等、国際物流政策の今後の予定についての説明が行われた。また、これらに向けた国別の課題に関するアンケート、シベリア鉄道による貨物輸送の利用促進に向けた実証事業の募集等に関する案内があった。

次に、株式会社海外交通・都市開発支援事業機構 川上事業推進部次長より、同機構の事業概要と取組み状況についての説明と、今後の物流業界の積極的な活用への期待の表明があった。

最後に、今年度の海外物流事情実態調査について、事務局よりアンケート結果が報告された。

本調査団はワーキングチームのメンバーで構成され、今年度は、インドの物流事情について実態調査を行う予定である。

本ワーキングチームの活動は、今年度も、凡そ2ヵ月に一度のペースで、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めることとし、次回は、7月上旬の開催を予定している。

以上
事務局 中川

会議全景



説明する国土交通省 町田課長



説明する日本貨物鉄道 西村室長



説明する海外交通・都市開発事業支援機構 川上次長

